

最新の温水冷却技術^{*1}を採用した水冷サーバ

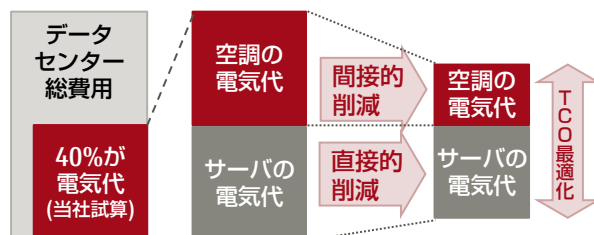
プライマジー

FUJITSU Server PRIMERGY CX400 M1 / CX2550 M2

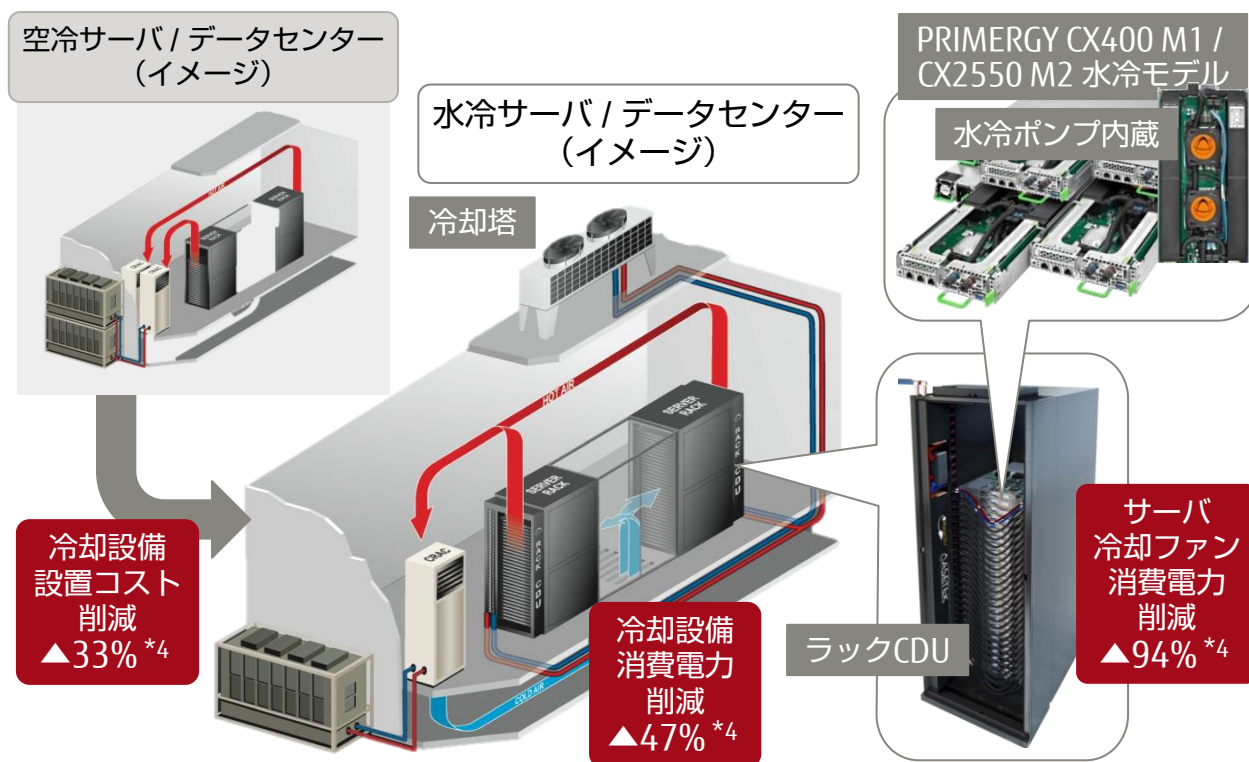
- サーバや冷却設備の消費電力、および冷却設備そのものの削減により、システムのTCO^{*2}を削減
- 冷却方式の変更により、データセンターの電源キャパシティはそのまま、最大限の計算能力を実現

サーバ内部のCPUクーラーの内蔵ポンプでCPUとメモリを冷却し、冷却ファンの回転数を下げることで、サーバそのものの消費電力を削減します。

また、冷却水と共にサーバ外に出される熱は、19インチラックに連結されるCDU^{*3}での熱交換、屋外に設置される冷却塔での外気冷却により、従来よりも少ない空調設備と消費電力で冷却されます。



※水冷サーバ導入の際には、データセンター側の冷却設備の工事が必要です。詳しくは弊社営業または販売パートナーまでお問い合わせください。



*1：温水冷却技術では、サーバとCDU間の冷却水に温水を使用します。水温を下げるための冷却チャラーで大きな電力を使用する冷水冷却に比べ、温水冷却は外気温で水温を下げられるため、より少ない消費電力で効率的に冷却可能です。
 *2：Total Cost of Ownershipの略。システムの導入費用だけではなく、運用・管理まで含めた総費用。
 *3：Cooling Distribution Unitの略。サーバ内蔵の水冷ポンプから冷却塔まで冷却水を循環させ、CDU自身でも熱交換を行う。
 *4：コスト削減効果はお客様環境により異なります。本資料の内容は、お客様環境でのコスト、消費電力削減効果を保証するものではありません。

商品・サービスについてのお問い合わせは
富士通コンタクトライン（総合窓口） 0120-933-200 受付時間 9:00～17:30（土・日・祝日・当社指定の休業日を除く）
 富士通公開サイト <http://jp.fujitsu.com/> 詳細はこちら www.fujitsu.com/jp/primergy/